

# 給食に

# 寄せる思い

会話を楽しむ給食の時間は、コロナ禍によって大きく変化し「黙食」という新しい形に。一人で食べる給食も、子どもたちには楽しみな時間。こんな時代だからこそ、先生や保護者も給食の大切さを感じています。



## 給食の時間が待ち遠しい

国見小学校2年  
大波 颯馬 さん

**給**食はおいしくて大好きです。なかでもパンが大好きで、コッパンや黒パン、いろいろな種類のパンが出てくるので、いつも楽しみにしています。毎日おいしい給食が出てくるし、嫌いなものが無いので残さずに食べています。友達と一緒に食べる給食の時間が楽しくて、いつも給食の時間が早く来てほしいなと思っています。



## みんなで食べるとおいしい

国見小学校2年  
安齋 奈々緒 さん

**わ**たしは給食のなかで、カレーが1番好きです。今日のメニューがカレーだったのでとてもうれしかったです。家族といっしょに食べる食事もおいしいけど、みんなで食べる給食はもっとおいしく感じるので、毎日の給食の時間が楽しみです。好き嫌いをしないように気を付けているので、毎日給食を残さないようにがんばっています。

## 感謝の気持ちを持って給食を食べてほしい

**町**の給食では、地産地消を推進する「みんなで食べる国見の日」を設けています。この取り組みは、幼いころから郷土愛を育むために大切なことだと思うので、今後も継続してほしいと思います。

給食には苦手なものや食べられないものも出てきます。そんな時には、子どもたちに一口だけでも食べるよう、担任の先生に声かけをお願いしています。給食に関わる人たちに感謝の気

持ちを持つことが大事だと考えています。食事をする際は、独りではなく誰かと一緒に食べることで、消化吸収や味覚の感じ方に差が出るといわれています。コロナ禍の今、給食中は話ができず、黙食をしなくてはならない状況になっているので、とても残念に感じています。以前のように、みんなで楽しくコミュニケーションを取りながら、給食を食べられるような環境に早く戻ることを願っています。



国見小学校  
荒川 美佐枝 先生

## 給食のありがたさを感じています



保護者(国見小)  
富田 可奈枝 さん

**給**食では旬のものやご当地メニューなど、普段の食事では食べられないものを提供してもらえるので、ありがたいと思っています。お弁当とは違い、温かいものは温かく、冷たいものは冷たいままでおいしく提供していただけることもあるし、苦手なものでもみんなと一緒に無理なく食べられるのではないかと思います。

保護者としても、献立表を見る楽しみがあります。フルーツやデザートが出る時は、子ども

がとても楽しみにしています。朝は献立表と一緒に見ながら話をして、夕食のメニューが被らないように気を付けています。

少ない予算の中で、栄養のバランスが取れた給食を提供していただいていたのに、今年度から給食費が無償化されたことは本当に助かっています。町が子育て支援に力を入れてくれたので、浮いた分のお金を子どものために役立てることができています。

給食は、「食べる時間の勉強」ともいわれています。みんなで一緒に食べる給食は、栄養や食材に関する知識や食事の作法を学ぶ場となります。また、地域の家庭料理や行事食などを積極的に給食に取り入れることで、町の食文化の継承にもつながっています。

子どもたちが大好きな給食。その一食には多くの人が関わり、子どもたちの健やかな成長を願う思いが込められています。

いつでも安全で、安心できるおいしい給食を食べてもらいたい。そして、食事や健康について自分で考え、実践する力を身に付けてほしい――

毎日の給食に込められた、たくさんの愛情は最高の調味料。給食に関わる人たち全員が、子どもたちのことを第一に考えている。そんな「あつたかい」給食のありがたさを、もう一度考えてみませんか。



給食に込められた思い ――  
たくさんの人に感謝して  
「いただきます」